

わた SHIGA 輝く国スポ 第 79 回国民スポーツ大会 トライアスロン競技 和歌山県選手団 結果報告・謝辞

このたび、9月28日（日）滋賀県で開催されました国民スポーツ大会トライアスロン競技に、和歌山県選手団女子監督として参加いたしました。日頃より県選手団の強化・育成に多大なるご支援を賜っております県スポーツ課ならびに和歌山県トライアスロン連合の皆様、まず心より御礼申し上げます。

今大会では、女子の高橋真紀選手が総合4位入賞、野田優選手が25位と健闘し、皇后杯で3位入賞という輝かしい成績を収めました。男子も原田洋旭選手が67位、南川和也選手が86位で力走し、男女総合で争う天皇杯では5位入賞を果たしました。全国の舞台で堂々とした戦いを繰り広げられたのは、選手一人ひとりの努力の結晶であり、和歌山県チーム全体の成果であると確信しております。

当日は快晴に恵まれ、途中で南川選手がバイクで接触・転倒するアクシデントもありましたが、軽傷で復帰し、全員が無事に完走を果たしました。会場には県スポーツ課競技力向上推進班の部矢氏をはじめ、選手のご家族や練習仲間など十数名もの応援団が駆けつけ、選手たちに力を与えてくださいました。また、県トライアスロン連合からは4名の審判スタッフが運営を支え、万全の体制で選手を送り出すことができました。

出場に向けては、5月の南紀白浜トライアスロン大会での選考を経て、7月の市内PALポートでの練習会や8月の滋賀現地合宿を、高橋正俊コーチご指導のもと実施し、奈良県選手との合同練習も取り入れました。そのほかにも、紀の川河川敷での早朝バイク集団練習を重ね、選手たちは確実に力を伸ばしてきました。さらに9月4日の県選手団結団壮行式では、県の皆様から心温まる激励をいただき、士気を大いに高めることができました。

今回、私は女子監督として初めて国スポにかかわる機会をいただきました。各種会合や書類の準備など戸惑うことも多くありましたが、その都度、周囲の方々の支えに助けられ、なんとか役目を果たすことができました。特に、県トライアスロン連合強化普及委員長の田中作治氏には、選手選考から練習会の企画・運営、大会本番に至るまで一貫して全体を主導いただきました。その尽力なくして今回の成果はなかったと感じており、この場を借りて深く感謝御礼申し上げます。

今大会で得た経験と成果を次につなげ、さらなる競技力向上を目指してまいります。今後ともご指導ご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

和歌山県選手団 女子監督 竹下直彦

